※文字の大きさは Meiryo UI ／12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、（写真 1）（表 1）などと文中に記載し、右ページに（写真 1）（表 1）などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ずＡ３片面１枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは５MB 以下としてください。

※事務局記入欄
No. 191

【様式２】

エントリー学校名：広島県呉市立広南中学校

活動名： チーム広南で未来を創る　～開発的アプローチで資質・能力育成～

解決すべき課題：

１　生徒は，これまでの地域の方に感謝，貢献することに加え，共に何かを創り出したいと願っている。

２　教職員（管理職）は，問題解決アプローチ（PDCA）だけで学校づくりができるか違和感を抱いている。

目標・方針：

１ 目標（仮説）： 開発的アプローチの手法を用いて，学校の良さを生かして夢を持ち挑戦する場を設定し組織的に実践することで，生徒に未来を創る資質・能力を育成することができるであろう。

２ 方針： 目的に沿って，問題解決アプローチ（PDCA）と開発的アプローチ（DDDD）のどちらを手段にして取り組むか方向性を持つ。未来志向の取組（挑戦）には，開発的アプローチを用いる。（図１）

活動内容：

１　生徒会活動：新生徒会の目標設定や年間計画は，夢を持ち創造的な活動にしたい。そこで，開発的アプローチ（DDDD）により取組を進めた。**Discover** の本校生徒会の伝統である「相手を大切にする礼節」を受け継ぎながら，**Dream** の新型コロナウイルス感染症対策の中でも自分たちが学校や地域で実践できると志を描きスローガンを「私たちには未来を変える力がある」とした。**Design** では各委員会の具体的な取組を立案し，生徒総会で提案した。**Destiny** では，コロナの中でも地域を元気にしたいという志を立てた文化活動発表会を成功させ，その後資質・能力の振り返りを行い自己調整した。また，各委員会は，コロナウイルス感染症対策のために問題解決アプローチ（PDCA）により計画，実践，検証，改善を行った。（図２）

２　総合的な学習の時間の取組＋１アクション：開発的アプローチで，３学年は創作劇で未来貢献するという伝統を引き継ぎながら，世界と故里で行動できる国際人としての資質を身に付けたいという目標を持ち，創作劇「もくりんピック 2020～世界の人とつながろう～」を創りあげ文化活動発表会で披露した。（図３）

３　特色ある学校づくり：学園教育目標や資質・能力の設定など創造的な学校を創るためには，課題を改善する問題解決アプローチだけでなく，学校の強みを伸ばす開発的アプローチが効果的であった。（図４）

活動の成果：

○　生徒会活動については，新型コロナウイルス感染症対策の中においても，新生徒会の目標設定は未来志向となり創造的な活動を行っている。また，その活動過程で資質・能力も育成されてきている。また，コロナで例年通りの文化活動発表会ができない中でも，コロナバージョンで柔軟に形を変えて実施することができた。

○　特色ある学校づくり：学園教育目標「未来を創る」や資質・能力の設定は，開発的アプローチにより設定されたものであり，今後の教育活動も，地域と共にある学校という核となる伝統を受け継ぎながら，カリキュラム・マネジメントにより新たな取組に更新されている。

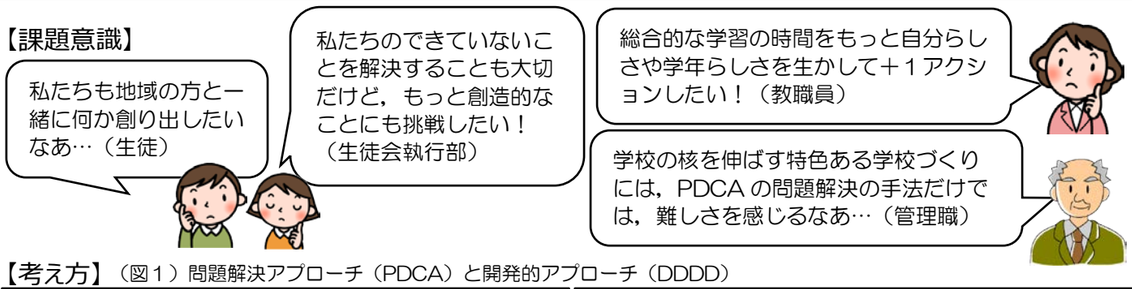
アピールポイント（アイディアや工夫）：

・未来志向で，創造的な教育活動を実践するには，開発的アプローチ（DDDD）が効果的である。

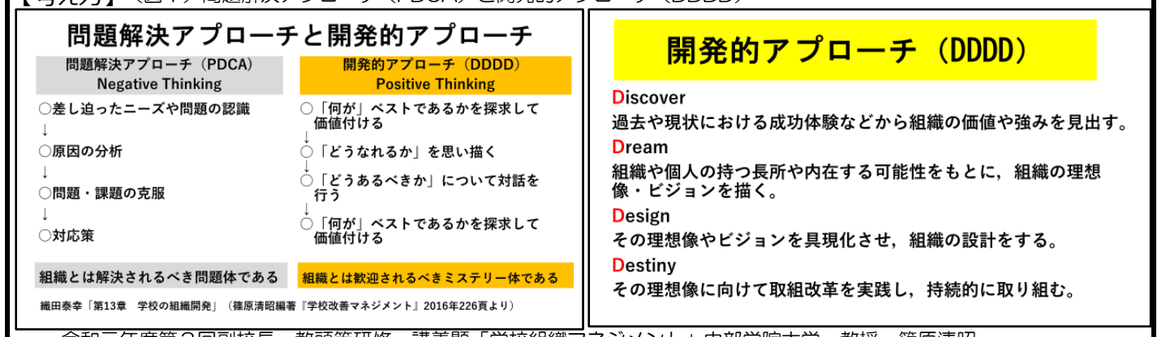
・新学習指導要領で求める「社会に開かれた教育課程」においても，地域と協働して開発的アプローチ（DDDD）で取り組むことで，地域の良さを生かした夢のある取組が可能となる。

・危機管理や服務などの問題を解決していくには，問題解決アプローチ（PDCA）が効果的である。

【課題意識】



【考え方】（図１）問題解決アプローチ（PDCA）と開発的アプローチ（DDDD）

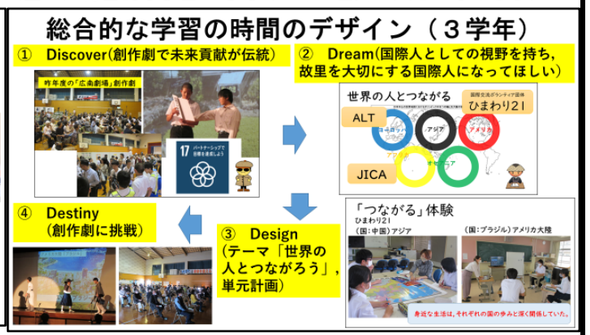


令和元年度第３回副校長・教頭等研修　講義題「学校組織マネジメント」中部学院大学　教授　篠原清昭

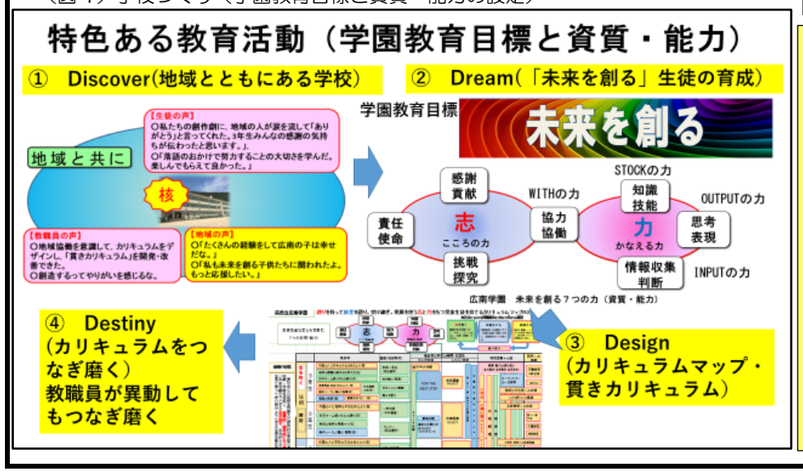
【実践】開発的アプローチ（DDDD）で取り組む実践

（図２）生徒会活動

（図３）総合的な学習の時間（３年　世界の人とつながろう）



（図４）学校づくり（学園教育目標と資質・能力の設定）



【成果と課題】

○学校の核となる特色ある学校づくりを目指すためには，開発的アプローチ（DDDD）が効果的である。

○目的によって，開発的アプローチ（DDDD）と問題解決アプローチ（PDCA）を使い分けると効果的である。

●今回は新型コロナウイルス感染症対策の中でカリキュラムが進まず，挑戦心などの資質・能力の高まりについて，データをもとにして検証するまでには至らなかった。